

日本事情 (Japanese)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	3年	2	講義	好村 友江
【授業の概要】 日本の文化・社会についての情報・知識を習得する。また、そのことを踏まえた上で、日本人の生き方や価値観を考察する。					
【授業の進め方】 日本の文化・社会について、留学生自身の興味や関心と連携させながら授業を進めていく。					
【授業の概要】	【授業項目】		【内 容】		
1回	概要		授業の内容説明と自己紹介		
2回	日本語の日常表現		コミュニケーションの結び方を考える		
3回	日本の四季		日本の四季の特色と年中行事		
4回	日本の地理		都道府県別の特色		
5回	日本人の暮らし		交通事情		
6回	日本人の暮らし		生活事情		
7回	日本人の暮らし		食生活		
8回	前期中間試験		1回～7回までの内容を範囲する		
9回	日本の名所		日本の世界遺産		
10回	日本の名所		京都・奈良の歴史と名所旧跡		
11回	日本の祭り		春と秋の祭り		
12回	日本の文化		古典芸能（能・狂言）のビデオ鑑賞		
13回	日本の文化		古典芸能（歌舞伎・文学）のビデオ鑑賞		
14回	葉書の書き方		暑中見舞状を書く		
15回	前期末試験		9回～14回までの内容を範囲とする		
16回	日本の文化		茶道の体験		
17回	日本の文化		華道の体験		
18回	日本の文化		書道の体験（筆に親しむ）		
19回	日本の文化		書道の体験（清書する）		
20回	現代日本の若者文化		若者ことば・ファッション		
21回	現代日本の大衆娯楽		スポーツ・音楽		
22回	現代日本の大衆娯楽		映画・漫画		
23回	後期中間試験		16回～22回までの内容を範囲とする		
24回	葉書の書き方		年賀状を書く		
25回	日本の経済		日本の労働問題		
26回	日本の教育		大学および教育における社会問題		
27回	宗教		日本の宗教の特色		

28回	文学作品	短編小説の朗読を聴く				
29回	文学作品	同上				
30回	学年末試験	24回～29回までの内容を範囲とする				
【到達目標】	日本の文化・社会についての理解を深める。					
【徳山高専学習・教育目標】	A2		【JABEE基準】			
【評価法】	定期試験 80%、提出物 20%で総合評価する。 学年末評価計算式：前期中間 + 前期末 + 後期中間 + 後期末 / 4(80%) + 提出物 (20%)					
【テキスト】	適宜プリントを配布する。					
【関連科目】	日本語					
【成績欄】	前期中間試験 【           】	前期末試験 【           】	前期成績 【           】	後期中間試験 【           】	後期末試験 【           】	学年末成績 【           】